

# DANRYU

暖流

公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951

2021 Vol.

2

常に挑戦し続けるトライフープ岡山の可能性  
SDGsセミナーを開催いたしました!  
現役会員が自社で取り組んでいるSDGsをご紹介  
事業紹介  
ACTIVITY REPORT

2021年度テーマ

PLUS



Special Talk

常に挑戦し続けるトライフープ岡山の可能性

小林佑輔 × 中島 聡

公益社団法人 岡山青年会議所 第71代理事長

トライフープ岡山

## CONTENTS

## Special Talk

常に挑戦し続けるトライフープ岡山の可能性 01

トライフープ中島代表と小林理事長の意見交換

SDGsセミナーを開催いたしました! 04

現役会員が自社で取り組んでいるSDGsをご紹介します 05

株式会社ジャパンウェブコンタクトセンター  
竹久夢二本舗敷島堂株式会社

## 事業紹介

01. IPU環太平洋大学×岡山青年会議所連携協定締結  
キッズスポーツパーク02. シゴトカレッジ 岡山の未来を創る人財育成事業  
シゴトカレッジ「ビジネス特別講義Ⅱ」

## ACTIVITY REPORT

01. ころも晴れ晴れおかやま魂 うらじゃ

02. 創立70周年記念事業 キリンがきたよ!

03. 新桃太郎伝説50年の時を経て…いざ岡山桃太郎空港へ

06

08



Special Talk

常に挑戦し続けるトライフープ岡山の可能性

小林佑輔 × 中島 聡

公益社団法人 岡山青年会議所 第71代理事長

トライフープ岡山

# 暖流

公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951

## 2021年【暖流】発行にあたって

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧いただきありがとうございます。青年会議所「JC」は20歳から40歳までの青年経済人たちが、地域経済の活性化や地域の課題解決に取り組み「ひとづくり」や「まちづくり」をしている団体です。JCは全国で697あり、岡山青年会議所は、全国でも9番目に早い1951年に設立されました。岡山青年会議所が脈々と受け継いできた「ひとづくり」の精神は、岡山のまちを担う品格あるリーダーの育成です。71年目を迎える今でも私たちの魂として心に宿り続けています。

世界中で新型コロナウイルス（以下コロナ）感染拡大が続く状況下、いまだ終息の見通しは立たず、世界で感染者は1億人を超え、人類の記憶上、最大の厄災の今を私たちは生きています。

その中でコロナは私たちに日常生活のありがたさ、人との繋りや温かさを再認識させてくれたのではないのでしょうか。

そんな中、私たちが今の現実を受け止め、できないと嘆くのではなく、コロナを正しく恐れ、行動していかなければ世の中は疲弊してしまいます。

岡山青年会議所は本年度も若者らしくプラスの発想に転換をし、メンバー一人ひとりができる方法を模索し「あっと驚く」事業に挑戦し、いかに郷土おかやまの皆様にとって明るい話題をつくり続けることが大切かを再認識している次第です。

今年掲げておりますスローガン「SPIRAL OF PULS ～輝く運命を切り拓け!～」のもと、大人から子どもまで多くの市民がまちの未来に夢を抱き、一人ひとりが輝く活気に満ち溢れ、持続可能な「おかやま」を創り出すために、青年らしいパワーと感性で様々な事業に取り組んでまいります。明けない夜はありません。市民一丸となり絶対にこの苦境をのりこえていきましょう。そして岡山青年会議所に対し一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 第71代理事長

小林佑輔



小林佑輔

Yusuke Kobayashi

昭和56年3月生まれ。平成15年、国立大学法人信州大学経済学部を卒業後、松下電工株式会社に入社。平成20年に小林電工株式会社に入社し、令和元年に専務取締役役に就任後、現在に至る。公益社団法人岡山青年会議所には平成23年1月に入会し、平成27年に総務委員会理事委員長、平成28年に専務理事、平成30年に交流室副理事長、令和元年に組織未来室副理事長、令和2年にひとり室副理事長を歴任。

中島 スポーツでしか味わうことができない、感動や達成感を体感してほしい。

小林 私たちも岡山の市民、子どもに対して岡山の未来に魅力を感じていただけるような事業を展開させていきたいです。キッズビジネスパークや、キッズスポーツパークなど、子どもた



中島聡

Satoru Nakajima

昭和59年9月、大阪に生まれる。大阪の天王寺高校卒業後、岡山大学薬学部に進学、卒業後そのまま同大学院に進学するもバスケットボールのプロのトライアウトを受け、大阪エヴェッサに合格。大学院を辞め、プロバスケットボールの道に、2年ほどで引退し、その後2013年に(株)TRYHOOPを設立。現在に至る。

中島 毎日、さまざまな企業に訪問して、地道にトライフープ岡山のことを伝え続けてきました。現在は約120社以上の企業様にご協力いただき、なんとB3リーグの規模で活動できる

ような想いでチーム運営されているのかということをお聞きしたいと思います。  
中島 最初はスクールから始まり、地域リーグからBリーグに参入するには、資金面でも大きな変化がありました。  
資金面や経営規模に見合っているのか？チャレンジしていくのか？という考えもあったのですが、私たちが掲げている理念の通り、挑戦し続けるチームとして挑んできました。そのため、チーム運営に関してもチャレンジし続ける姿勢

小林 そこからB2、B1リーグを目指していることとすると条件は厳しくなっていくわけですね。  
中島 そうですね。ライセンス条件があり、資金面だけで言えばB2に昇格するのに目安としては売り上げ4億円、B1までいくと12億円が必要となるので、B3からB2リーグに昇格することについても、まだまだ頑張らないといけないというのが現状ですね。

小林 トライフープ岡山さんは活動を通じて岡山の街に活力を与えたり、好影響を生んだりしています。私たち岡山青年会議所も、やり方は異なりますが同じ目的で活動していると感じました。中島さんがバスケットボールを通して、岡山の街に伝えていきたい魅力をお聞かせいただけたらと思います。

中島 先ほどお伝えしたような事を続けていくことで、良い教育の環境を生んでいければ良いと思っています。現在も小中学校でバスケットボール教室を行ったり、バスケットを通じて、様々なことを伝えるようにしています。そうして子どもたちがアスリートに触れる機会をつくることで、人間性が身についたり、プロスポーツが地域に根づいたりする文化につながるのではないかと考えています。

小林 岡山青年会議所も、これから岡山の街を担う人材を育てている団体で、修練・奉仕・友情というテーマで活動しています。トライフープ岡山さんも同じように、人づくり、また街づくりを行っていると思うのですが、これから取り組もうとしていることや、将来的に考えられていることがあればお聞かせください。

中島 まだ他のスポーツについては考えられていない部分もあるのですが、トライフープ岡山は子どもたちがプロになりたいという思いを持って、夢を持ってもらいたい、というきっかけでスタートした団体です。プロのスポーツ選手が夢を叶えたり、活動の中で礼儀礼節を表現したりすることで、子どもたちに学校教育とは別の学びが生まれること。それがプロスポーツチームの新たな可能性になるのではないかと考えています。

小林 岡山にはトライフープ岡山さんの他にもプロスポーツチームがありますが、スポーツシーン全体として、課題や可能性について考えられていることをお聞かせいただければと思います。

中島 夢や目標ややりたいことを早く見つけてください。面倒だからしないで、何かに取り組んだり、チャレンジしていただきたいと思います。  
小林 私たち岡山青年会議所と目標にしている部分は似ていると思いますので、これからもパートナーシップを組みながら、一緒に事業をさせていきたいですね。  
中島 私たちも青少年の育成を中心に考えているので、一緒に取り組めるようなことがあればぜひお願いします。  
小林 今日はお話をお話をありがとうございました。これからも岡山の街、そして子どもたちのためにできることがあれば一緒に活動させていきたいですし、私も一企業人として応援していきたいと思っています。今後のご活躍を期待しています。



※この対談はマスク着用(写真撮影時以外)、手指消毒、検温チェック、ソーシャルディスタンスの確保等、安全面に最大限配慮したうえで行いました。



「常に挑戦する姿勢」を示し続けるという理念を掲げ、B3リーグに参入したトライフープ岡山。代表の中島聡氏にこれまでの活動を振り返ってもらいながら、プロスポーツチームの経営や今後の夢について意見を交わしました。

# 特別対談

小林(以下、小林) トライフープ岡山さんは、県内初のBリーグプロバスケットボールチームとして活躍されています。  
中島(以下、中島) 学生だった頃、自分自身もプロバスケットボール選手を目指していました。その後、大阪のチームに所属することができたのですが、その時、一流のプロ選手のレベル、プロチームの素晴らしい、バスケットボールの盛り上がりを感じることができました。  
小林 それから大学時代を過ごした岡山に、なにか思返してきませんか？と始めました。当時、岡山にはプロバスケットボールチームはなく、子どもたちを育成する環境も整っていないと感じたので、まずはバスケットボールを教える施設をつくりました。

中島(以下、中島) 学生だった頃、自分自身もプロバスケットボール選手を目指していました。その後、大阪のチームに所属することができたのですが、その時、一流のプロ選手のレベル、プロチームの素晴らしい、バスケットボールの盛り上がりを感じることができました。  
小林 それから大学時代を過ごした岡山に、なにか思返してきませんか？と始めました。当時、岡山にはプロバスケットボールチームはなく、子どもたちを育成する環境も整っていないと感じたので、まずはバスケットボールを教える施設をつくりました。

小林 そこからBリーグに参入するまでには、どのような経緯があったのでしょうか。

中島 バスケットボールスクールを始めた当初、生徒は19人だったのですが、そこから50人、100人と人数が増えていきました。そんななか子どもたちから「どうして岡山にはプロバスケットボールチームがないのですか？」という声が上がってきたんです。

小林 岡山のプロバスケットボールチームがあれば、子どもたちが夢や目標を明確に持つてくれるのではないかと、プロチームが誕生しました。まず3人制のチームを発足し、2018年には5人制のチームで地域リーグに参加、そして翌年にBリーグに参入して、2021年に2シーズン目を迎えています。

小林 中島さんは選手として、またチームの代表としてこれまでトライフープ岡山を運営されてきたと思います。そのなかで様々な困難に直面したり、仲間とのチームワークで乗り越えられたりした経験があったと思うのですが、どの

# 現役会員が自社で取り組んでいるSDGsをご紹介します!

## 株式会社ジャパンウェブコンタクトセンター

株式会社ジャパンウェブコンタクトセンター



弊社では、女性の社会進出にSDGsの目標:5で、「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」ことに則り推進しています。

日本の歴史の中で、差別や暴力の対象となりやすかった女性は、社会から疎外され「男性社会」という言葉が日常の中で近年まで当たり前のように使われてきた事実があります。

今でも経済的に弱い立場になりやすい傾向があり、G7の中でも日本は、女性の社会進出は最低クラスです。少しずつ状況は改善する動きはあるものの、決定的な社会での男女の平等は実現できていないのが現状です。

弊社では、子供を持つ女性に焦点を当て働き方をサポートすることで、SDGsの目標:5の、理想とする持続可能な社会の実現への一歩と考え、在宅勤務、時間短縮勤務等の制度を整え、積極的に女性を雇用し、安心して働いていただいております。

SDGsの目標:5では、「未成年者の結婚や強制結婚などの有害



な慣行を撤廃する」「家庭内における男女の責任分担を進める」「政治・経済などにおける女性のリーダーシップの機会を確保する」など、様々な方向から女性の社会進出を目標に掲げていることに弊社も賛同し、岡山の女性進出を推進する企業として尽力して参ります。

### 【健全者の時と障がいを持ったあとの心境変化】

私は元々いじめられていた経験があり、何度も死のうと思った経験をしたので人をあまり信用できないところがありました。

しかし、一時期私は車椅子生活をしている中で、今まで見たことのない景色を経験しました。例えばですが、視界が低くなったことで一人ではまともに生活できなくて、いろいろな人に助けられて生きていることを実感しました。

実際に雨の日にコンビニへ行ったときに、高校生に車椅子で移動中溝にはまって動けないところを助けてもらいました。それに感動して私はお礼の訪問をしました。

それ以降、人のやさしさを感じて女性やハンディキャップを持つ人が活躍する社会にしたいと思って会社を立ち上げました。

そして、私のようにハンディキャップを持つ人が過ごしやすい社会を作るために、会社としては社会的に弱い立場の人を積極的に雇用することにしています。

個人としてはボランティア等でよりよい社会にするために活動していますが、個人で社会をよくするには限界を感じていたため、私は岡山青年会議所に入ってハンディキャップを持つ人の役に立てるようにと、入会を決意しました。

当社の採用基準として能力ではなく、人間性を見て採用しています。実際に当社は積極的に女性の社会進出を応援できるように雇用を行っております。現在従業員の10名中6名は女性社員です。

そして、現在新規事業立ち上げを検討している中で、女性社員にプロジェクトリーダーを任せていこうと検討しているところです。

## 竹久夢二本舗数島堂株式会社 平井店(シキシマドウノカフェ)

平井店は2020年12月に新しく移転オープンし、2021年1月より新業態として「シキシマドウノカフェ」を店内に併設しております。昨今の気候変動により美味しいお菓子をつくる上で一番大切な原材料の入手が困難になり、価格高騰を続けています。私たちは自然の恵みがあってこそできる仕事なので、できるだけ地球環境のことを考えた店舗にしたいと思いSDGsの一つのテーマにしました。銘建工業株式会社の作った岡山県産ヒノキの間伐材を貼り合わせたCLTという木材を屋根に使用しています。

他にもテイクアウトカップには再生木材を使用したエコウッドやPLA(生分解フィルム)を使用し、できるだけ環境に優しい容器を使用しています。

店内には、ありがとうファーム所属の障がい者アーティストたちの作品をレンタルして飾っています。

ひとりひとりがハンディと向き合いながら制作された作品は本当に心打たれる素晴らしいものばかりです。素敵な絵に囲まれ、お菓子を食べながら素敵な時間を過ごしていただければと思っています。レンタルすることで、アーティストの定期的な収入となるのでお互いWin-Winの関係が築けています。

お菓子を通じて笑顔の花が咲くよう、これからも持続可能なお菓子づくりに努めて参ります。



■岡山市中区平井5-8-43 ■TEL.086-230-5000  
■営業時間 物販/9:00~18:00・カフェ/10:00~18:00(OS17:00)  
■休業日/なし



# SDGsセミナーを開催いたしました!

岡山青年会議所の例会後に株式会社ありがとうファーム代表の木庭寛樹様をお迎えし、SDGsセミナーを開催いたしました。

3月第一例会後にSDGsセミナーを開催いたしました。  
入場前のマスク着用、手指消毒、検温チェック、ソーシャルディスタンスの確保等、安全面に最大限配慮した設営の中で、執り行われました。

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

SDGs活動を始めることで、社会の問題、地域の問題を解決するきっかけをつくり、企業に取り入れることで、社員の意識向上・活性化へ繋がり、パートナー企業の新たなイノベーションを生み出すきっかけをつくります。私たちは環境、社会、経済の課題を共に解決しながら新しい時代をつくるのが大切です。環境を保全しつつ、人々が豊かに暮らせる社会の実現を目指します。

今後も岡山青年会議所はSDGsを通して、地域の持続的発展に向けた取り組みを進めていきます。

SDGsは、環境問題・社会問題・経済問題の3つを解決していく取組みで「だれひとり取り残さない」という基本理念を掲げています。

今回のセミナーでは、以下の3つについて

- ①SDGsは大企業の問題で中小零細企業には関係ないのでは?
  - ②中小零細企業では取り組みはあまり効果がないのでは?
  - ③SDGsはお金がかかるだけ、ビジネス・利益にはならないのでは?
- 本当はどうなのか?を考えていきました。  
実際にありがとうファーム様とのコラボ事例を紹介していただきました。
- ①環境にも優しい、社会にも優しい企業姿勢を広報している事例(イタミアート)
  - ②新規事業が誕生した事例(アイムコラボレーション)



- ③商品パッケージに障がい者アートを採用し話題になった事例(果実工房)
- ④全国初の新サービスを開発した事例(建房)
- ⑤SDGs活動をアートで伝える事例(大本組、河野建設、重藤組、レスク、敷島堂)

岡山県内で聞いたことのある企業の事例、またこれから実際にSDGsに取り組む際のポイントなどもお話していただきました。

SDGsの基本姿勢として、先義後利「人としての道義を優先し、利益を後回しにしていれば必ずと栄える」という商売をするうえで人の役に立つということが、仕事になるという事です。そして、社内への浸透(社員チームの結成など)、社外への広報(SDGsレポートなど)を行いやっていることをしっかりと発信し、同じ考えを持ち応援してくれる人を一人でも増やすこと。その同志たちとの連携を行い、自社のみでは難しいことを同業者、協会、仕入先、大学、高校、公民館、地域などと力を合わせていくことを教えていただきました。

この例会後にはメンバーそれぞれの意識が高まり、SDGsに対する障害、障壁を取り除き、理解を深めるためのセミナーになりました。

今後もSDGsを推奨していくその先にあるものを、明確にし、課題をさらに深掘りすることで、岡山青年会議所全員でSDGsのさらなる推進をしていくことを目指して参ります。

## ありがとうファーム

株式会社ありがとうファームは、様々な障がいや難病をもった方が仕事の訓練をする「就労継続支援A型事業所」という業種の企業です。

岡山市の中心部・表町商店街を拠点として、アートとサービス業の2本柱で、利用者90人、職員20人の合計110人で活動しています。

「生き生きと堂々と、人生を生きる。」という企業理念実現のため、SDGs活動に積極的に取り組んでいます。

具体的な取組みとしては、企業のSDGs広報活動としてハンディキャップアートを活用してもらった「レンタルアート」や「社会貢献型工事仮囲いシート」、企業廃材をモノづくりの材料として活用し障がい者が講師を務めるエシカルワークショップ「HUB Labo」、ノボリ制作時に出る端切れを材料にテレワークを活用して全国のハンディキャップ編み物アーティストと共同製作する雑貨グッズ「nabori」などに取り組んでいるほか、全国で約960万人いる障がい者を顧客として捉えた新規事業創出のお手伝いにも取り組んでいます。



株式会社ありがとうファーム  
業種:多機能型事業所(就労継続支援A型事業所、生活訓練、共同生活援助)  
住所:岡山市表町3-7-5  
TEL:086-953-4446 FAX:086-953-4442



# シゴトカレッジ 岡山の未来を創る人財育成事業

## 岡山の企業 × 岡山の大学生



就職活動に絶対生きる実践的体験

岡山企業の生の経営に触れよう

シゴトカレッジ「ビジネス特別講義Ⅱ」

岡山県内の若手経営者の組織である岡山青年会議所と協力しこれからの時代に必要とされる自律的人財を育成することを目的としています。実際に岡山企業の生の経営に触れることを通じて、アントレプレナーシップを養うために実践的体験の中で学んでいただきます。またアントレプレナーシップに必要な課題発見への思考法、課題解決への思考法、課題解決へつながるプランの構築力、ビジネスモデルを人に伝える技術力を身につけていただくことを目的とした事業となります。

大学コンソーシアム岡山提供科目<sup>(※)</sup>だから単位取得可能  
参加資格：岡山県内の大学生（2,3年次） 募集定員：100名

開催日程・開催場所	注意事項
第1講 6月12日(土) PM1:05-PM6:05 IPU 環太平洋大学岡山駅前キャンパス	※1 単位取得可能大学は大学コンソーシアム岡山参加大学単位取得に限り、単位認定はできません。【ビジネス特別講義Ⅱ】
第2講 6月26日(土) PM1:05-PM6:05 グループ別企業訪問	※2 参加費は、2021年7月1日～7月31日
第3講 7月10日(土) PM1:05-PM6:05 グループ別企業訪問	※3 募集定員以上の応募があった際は希望者優先となります。
第4講 7月22日(木) PM1:05-PM6:05 IPU 環太平洋大学岡山駅前キャンパス	※4 参加費は別途にて変更いたします。
第5講 8月7日(土) PM1:05-PM6:05 IPU 環太平洋大学 (変更の可能性有)	

※新型コロナウイルスの状況により配信での開催など内容が変更になる場合がございます。最新の状況はIPよりご確認ください。

課題企業は協賛していただいた多種多様な業種から選定されます。

問合せ 公益社団法人岡山青年会議所  
岡山県北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル6階  
Email: info@jci-okayama.com

詳しくはホームページをご覧ください  
<https://okayamajci.org/rd/>

シゴトカレッジ

## シゴトカレッジ 「ビジネス特別講義Ⅱ」

開催日程 2021年6月～8月

開催場所 IPU・環太平洋大学  
課題提供企業各社

### 実施目的

岡山県内の若手経営者の組織である岡山青年会議所と協力し、これからの時代に必要とされる自律的人財を育成することを目的とします。

### 実施概要

岡山県内の大学生を対象として、県内企業が抱える問題や課題を学生と共有して、課題解決に繋がるプロセスやビジネスモデルを学ぶ短期間の実践講義です。

### 課題提供企業

手打ちうどん 名玄

手打ちうどん 名玄  
飲食業



山佐株式会社  
アミューズメント機械製造業



株式会社オオカタワーコーポレーション  
不動産事業、介護事業



RSK山陽放送株式会社  
放送事業



株式会社 大真  
保育園事業



有限会社森上煙火工業所  
打ち上げ花火製造施工業



飛鳥グループ協同組合  
冠婚葬祭業



株式会社SEIYU  
建設業



株式会社ファジアアノ  
岡山スポーツクラブ  
プロサッカーチーム



岡山夢楽匠 敷島堂  
竹久夢二本舗敷島堂株式会社  
菓子製造販売事業

### 4つの到達目標

- 1 自ら対象フィールドの中に存在する問題を発見することができるようになること。
- 2 他者と協働しながら、課題を解決することができるようになること。
- 3 企業や企業で働く人たちの考えを理解し、建設的な双方向のコミュニケーションをすることができるようになること。
- 4 課題に対して、適切な改善提案ができ、他者にわかりやすく伝えることができるようになること。

# IPU環太平洋大学×岡山青年会議所 連携協定締結



極度の少子高齢化社会により直面している人口減少に加え、コロナ禍によって地域経済の先行きが見通せない状況が続いています。この状況を切り拓くためには、新たな時代に適応する多様性や価値観を持った次世代を担う若き力を育てて行くことが必要です。岡山青年会議所はIPU環太平洋大学と連携協定を結び現在の状況を切り拓く人材を育成する事業を実施します。

## キッズスポーツパーク

開催日程 2021年10月(予定) 開催場所 IPU・環太平洋大学

実施目的 子供たちが自らの身体能力を知り、様々なスポーツを体験し、取り組むきっかけの一助となる事で青少年の健全な成長に繋げ岡山の発展に繋げる事を目的とします。

実施概要 岡山市内の小学生300名を対象とし、様々なスポーツを体験できる場を、IPU・環太平洋大学と共同で実施します。また大学の研究施設にある様々な計測機器を使い、子供たち自身が自分の身体能力を知り、向いているスポーツや、今取り組んでいるスポーツの課題などを見つける場を創出します。



多くの皆様のお陰をもちまして、下記事業のクラウドファンディングを達成しました!誠にありがとうございます。

## 02 ACTIVITY

### 創立70周年記念事業 キリンがきたよ!

70周年記念事業として、活気ある池田動物園を取り戻そうと動きました。

池田動物園において経営状態が危ぶまれる状況とともに老朽化した施設の維持管理の費用や人気となる動物たちが相次いでなくなっていることで年々入園者数が減少している現状でした。

そこで池田動物園を応援する会や他団体と協力し、もう一度市営化に向けて動き岡山青年会議所はクラウドファンディングの活用、協賛金集めを行い、動物の檻を修繕し、キリンを寄贈しました。

コロナ禍の中での開催のため、規模を縮小し感染対策を万全に行った上で、池田動物園内にて4月16日にキリンの寄贈と共にお披露目式を開催させていただきました。

池田動物園、池田動物園の未来を考える会、一般社団法人池田動物園をもうえんする会、ライオンズクラブ国際協会、一般社団法人ワンダーシップからそれぞれ代表者の方にご出席賜りました。

今後も郷土おかやまの魅力と伝統を伝えていける事業への挑戦をしていきますので、引き続きよろしくお願いいたします。



## 03 ACTIVITY

### 新桃太郎伝説 50年の時を経て…いざ!岡山桃太郎空港へ!

全国ではその地域の特徴や名産を活用しながら、まちのブランディングへと繋げています。

岡山にはマスカットやママカリ、桃太郎など特徴や名産にちなんだ名所や場所などが存在します。

しかし、岡山の玄関口であり利用率の高い岡山桃太郎空港にその要素が少なく弱い状況でした。

そこでJR西日本岡山支社と岡山青年会議所10周年に記念事業として、寄贈した初代桃太郎をリメイクし、岡山桃太郎空港(ターミナル正面玄関)へ寄贈します。

桃太郎像は「桃太郎のまち岡山」を一番イメージさせるものです。また桃太郎にまつわる新しいストーリーを記載した看板と設置場所背面に岡山出身、現役アーティストの絵のラッピングを計画しております。

寄贈後、大人から子供まで多くの人が再認識でき、岡山を訪れた人にもまちのことを知ってもらえるよう専用のPR動画を作成し、県内はもちろん全国へ発信し話題性を獲得していきます。

1か月限定でフォトコンテスト及びSNS(インスタグラム)などで、「桃太郎のまち岡山」のブランディングへとつなげていきます!



PR動画はコチラ▶▶



# ACTIVITY REPORT

## 2021年 活動報告

## 01 ACTIVITY

### こころ晴れ晴れおかやま魂 うらじゃ

岡山伝統の祭り「うらじゃ」に関わる振興活動を通して、「共生と融和」を基に産官学民が一体となり、まちをあげての画期的な振興活動を行います。活動をとおり、プラスのスパイラルが起き、おかやまに素晴らしい観光資源がある事を将来のおかやまを担う子供たちに継承し、それによりおかやまの未来に誇りを持ち、夢を抱く市民を一人でも多く増やしていきます。

昨年度はうらじゃが中止になり、本当に皆さん悔しい思いをしたと思います。

本年度はバレードの中止、会場の規模を縮小してなんとかでも開催していきますのでよろしくお願いいたします。

また、将来の岡山に伝えていくために絵本を作成いたします。絵のテーマは「うらじゃ踊り」・ストーリーのテーマは「うらじゃ」でコンペを行い受賞者に選ばれた方のお話を絵本にして岡山市内の保育園・こども園・幼稚園に寄贈していきます。

みなさん8月21・22日は「うらじゃ」を楽しみにしていただき、ご参加のほどよろしくお願いいたします。



## まちづくり事業告知

まちを誇りに感じる市民を一人でも多く増やすこと。  
市民にモチベーションを与えポジティブの波を起こし、現状を打開するインパクトある運動を展開し  
青年会議所ではできない「ポジティブ・インパクト」を巻き起こすこと。  
私たちの思いと行動が伝播することで「プラス」のスパイラルが巻き起こる。  
若者らしい発想力で「あっと驚く」事業に挑戦。まちづくり室ポジティブインパクト共創委員会主催!!

# キッズスポーツパーク



岡山県内の小学生、約300名を対象とし、  
IPU・環太平洋大学、第1キャンパスにて様々なスポーツの体験、  
スポーツ能力の測定を実施します。  
未来を担う子どもたちへ スポーツを通じて楽しい体験、  
可能性の気付きの場へ!! 乞うご期待!!

岡山にはスポーツをする沢山の素晴らしい環境が整っています。しかし岡山県の小学生は全国運動能力、運動習慣等調査結果では全国平均より男女ともに低くなっており、運動時間の減少や男女ともに肥満の割合が年々、増加傾向にあります。そのことにより体の免疫力が落ちるだけでなく、自律神経の働きの抑制や生活習慣病へのリスクが増加する現状があります。

次代を担う青少年に、自らの身体能力と適切なスポーツを知ることにより、青少年の健全な成長や可能性を高めます。さらに、スポーツを通じて運動の楽しさを知ることにより、運動が苦手な青少年も、運動が好きになり、意欲的に運動に取り組むようになることにより、運動時間の増加や、男女ともに肥満割合の減少を目的とする事業を計画しています。



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



次号は9月発行予定です。

発行日 令和3年6月  
発行 公益社団法人岡山青年会議所  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com  
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所  
プラスワン創造委員会  
委員長: 笹山 勇二  
大塚 真弘・佐藤 一弥・眞殿 昌宏  
大田 武勇・坂本 雅樹・篠永 茂・松田 龍乃輔・渡邊 陵太・池元 純一